

# 大館の歴史散歩

郷土博物館の展示紹介⑫



郷土博物館では、平成七年七月から約一年半の時間をかけて、大館市の立体地形模型を作成し、二月から展示館に展示しています。製作者は博物館嘱託の岩崎清三さんと、比内町の明石安生さんの二人です。二人とも市内の中学校で理科を教えた先生でしたので、ご存じのかたも多いと思います。

模型をご覧いただきながら、過去そして現在の集落や道路、沼やため池などをオーバーラップさせて、大館の歩みが地形とどのようにかかわってきたのかを読んでいただきたいのです。

周囲を山で囲まれた盆地地形の中で、米代川、下内川、長木川など河川が刻んだ流域に、幅は狭いものの昔から人々が生活を営んだ段丘台地があり、盆地外との連絡は河川が切り開いた流域を利用することが都合がよかつたことが一目でわかります。

模型は、山や山裾の台地、河岸段丘、そして現在水田として利用されているかつての氾濫原などを色分けしています。

郷土博物館では、平成七年七月から約一年半の時間をかけて、大館市の立体地形模型を作成し、二月から展示館に展示しています。製作者は博物館嘱託の岩崎清三さんと、比内町の明石安生さんの二人です。二人とも市内の中学校で理科を教えた先生でしたので、ご存じのかたも多いと思います。

模型は、国土地理院発行の二万五千分の一地形図を基に、二十メートル等高地形を厚さ五ミリのダンボール紙に転写。それを丁寧に切り取り、一段一段重ねていくと这种方法で作りました。非常に手間のかかる根気のいる仕事でした。模型の大きさは、東西が百二センチ、南北が百三十三センチで、大館市がすっぽり入っています。ダンボール紙の厚さが等高に対し六倍強と比率が高いため、出来上がった地形は実際よりかなり傾斜が急になっています。しかし、私たちの住む周囲の山々や台地、沢、川などの地形が手に取るように良くわかります。

模型は、山や山裾の台地、河岸段丘、そして現在水田として利用されているかつての氾濫原などを

腹が減る

ゴシヤゲル：しゃくにさわる

カジレル・カジエル：飢える、

オツケアル：反る、転ぶ

オヂギヤル：眠りから覚める

コチヨガス・コチヨバス：くすぐる

ゴモメグ：愚痴を言う

サフエアフル：采配振る、指

ノノメグ：ののしり騒ぐ

マガス：水などをこぼす

△動詞

## 大館の方言講座

- ▽問題  
①固定資産税の評価替えは何年になつた？  
②こども科学室は大きく分けていくつのコーナーに分かれている？  
③今年の桜まつりはいつから始まる？  
④8月15日に大相撲大館場所が行われる会場は？  
⑤消防署救急隊が行う普通救命講習はいつ？

## 広報おおだてガヒント

- ▽応募先  
〒017 大館市字中城20番地  
広報おおだてクイズ係  
はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①・②)を書いてご応募ください。

### ⑥8月15日に大相撲大館場所

が行われる会場は？

### 始まる？

命講習はいつ？

### △3月16日号の当選者

①平成9年度 ②11・7倍

③消防署・119番

④4回 ⑤田中藤治

△締め切り  
4月24日(木)当日消印有効

※全問正解者の中から抽選で5人に、広報おおだてオリジナルテレカを贈ります。

- △3月16日号の当選者  
①富沢文子さん(本宮)  
・菅原ヨネさん(小坪川原)  
・花岡ツルさん(白沢2区)  
・井上タカさん(大滝1区)  
・阿部フミさん(御成町4丁目)  
△3月16日号の当選者  
応募総数46、全問正解者数31

## ちびっこギャラリー あじいちゃん

### 有浦保育園



たなか こうだいくん  
だっこや肩車をしてくれる  
から大好きなんだ。



あさり みさきちゃん  
家の中でミニ四駆を走らせて一緒に遊んでくれるんだ。



じん ゆうやくん  
オモチャのおみやげをいっぱい買ってしてくれるんだ。

